



灯ろうとポスターを 都萬神社に奉納 境内を彩る

大崎中学校の特別支援学級「虹・スマイル組」の生徒17名が六月灯と夏越祭にあわせて灯ろうとポスターを作成し、6月26日(月)、都萬神社に奉納しました。

ポスターには、花火やカブトムシ、鳥居などが色紙で賑やかにデコレーションされており、灯ろうには「心」「楽」「思」「健」などそれぞれの思いが力強く書かれています。

灯ろうに「希想」と書いた1年の藤田^{のあ}希彩さんは「神社に『想い』を込めてつくったので、自分の名前に入っている『希』という文字と掛け合わせて書きました」と話してくれました。



漁獲量増大を願いうなぎを放流

6月28日(水)、大崎町内水面種苗採捕組合と有明町シラスうなぎ種苗採捕組合、志布志湾養鰻協会の皆さんが、約2,000匹のうなぎを放流しました。

これは、うなぎの帰巢本能を利用し、12月に解禁となるシラスうなぎ漁での捕獲を増大させることを目的に毎年実施されています。

今年は、松原王子も放流を手伝い、シラスうなぎの漁獲量増大を願いました。



九州で唯一の九州一歳馬せり 野方で開催

6月20日(火)、野方のJBBA九州種馬場において、年に1度の「九州一歳市場」が九州軽種馬協会の主催で開催されました。同市場は、九州では大崎町のみでおこなわれています。

九州で生まれた一歳の馬が30頭上場され、場内で馬主や調教師が馬の状態を確認した後、競りの会場で競り落とされました。上場された30頭のうち18頭が落札され、平均価格は322万円(税抜)、最高価格馬はカシノティータ2022(牡・父アレスバローズ)で650万円(税抜)で落札されました。

せり市は全国から約100名の購買者が参加し、オンラインによる入札も併せておこなわれました。